

校内授業研究会

《国語科・体育科・算数科》

7月1日（木）に国語科の共同研究者の小笠原先生と3名の校外からの参観者を迎え、国語科と体育科と算数科の校内授業研究会が行われました。

今回は、3授業ともにロイロノートを活用した実践でした。アナログ（手書き）とデジタル（タブレット端末）の融合をどのように授業に位置付けていくのかという課題が明確になり、今後の研究対象として進めていく必要があると感じました。

《国語科》



3年生の国語科の学習では、一枚の絵から、人物の行動や会話、気持ちへと想像を広げて創作話を書く学習を行いました。

タブレット端末を活用することで、自在に絵を拡大・縮小したり作品モデル等を見たりすることが可能となりました。各自が、タブレット端末にタッチペンで書くのか原稿用紙に書くのかを選んで取り組みました。タブレット端末に書いた作品はもちろん、原稿用紙に書いた作品も写真に取り込むことで即時に全体共有することができます。互いの作品を比較することで創作話を書く際のポイントに気付き、自分の作品を再検討することができました。

今後も、ICTを活用することで思考力・表現力を養い、学びを深めていきます。

《体育科》

3年生の体育科の学習では、グループごとにリズムダンスを練習し、発表しました。タブレット端末を活用することで、いくつかの

動きを並べて自分たちのめざすダンスを作ったり、練習したりすることが容易になりました。また、撮影機能を使って、自分たちの動きを確かめているグループもありました。発表の場面では、例として示した動きをアレンジして新しい動きを考えたり、隊形を工夫したりしている様子が見られました。

全4時間の単元の子供たちの振り返りを確認すると、「リズムにのって、全身を使っておどることができましたか」「おどり方をくふうし、考えたことを伝えましたか」「友だちの動きや考えのよいところを見つけられましたか」という項目に対して、学習を重ねるごとに肯定的な回答が増えていきました。これからも、運動量を確保し、友達と関わりながら学習できるように研究を進めていきます。

《算数科》

6年生は、円の弧を含む複合図形の面積を工夫して求める学習を実践しました。単元「円の面積」では、相対的な考え方からおよその円の面積を求めたり、円を多角形に変形して円の面積を求める公式をつくったりする学習を行っていきます。そして、本時では、円の弧を含む複合図形を既習の求積公式が使えるように分割したり、差し引いたりして求積することを統合的に考えることをねらいとしました。

実際の授業では、タブレット端末とロイロノートを使いました。複合図形をどのように考えれば求積できるかを話し合うことができるように、問題の図形には長さを提示せずに取り組みようにしました。また、求積の工夫



を考えやすく、説明しやすくするために問題の図形を分割して活用できるようにしました。子供たちは、ノートやタブレット端末を上手

に活用して求積の方法を考えたり、説明したりしていました。

タブレット端末の利用により、多様な考えを出しやすくなったと同時に情報量も増えてしまい、収束のさせ方や思考の深め方、個別の対応が今後の課題となりそうです。

校内授業研究会

《算数科・図画工作科・国語科書写》

7月5日（月）に国語科書写の共同研究者の住川先生と附属中学校の先生方、2名の校外からの参観者を迎え、校内授業研究会を行いました。

今回は、普段の授業の中に効果的なICT機器の活用を位置付けました。3授業ともにそれぞれの教科・領域の特性に合わせた実践が行われ、参観された他校の先生方から、とても参考になったという声が聞かれました。

《算数科》

1年生の算数科では、「かずしらべ」の学習をしました。ばらばらに描かれている果物の中でどれがいちばん多いか調べる問題で、「ばらくちゃで分からない。」と子供たちから問いが生まれました。そこから、「果物の絵を並べたい。」「一列にするといい。」「大きさを揃えないといけない。」と解決の見通しをもったり主体的に解決しようとする姿がありました。本時の活動では、子供たち一人一人がタブレット端末のアプリを使用し、簡単な絵グラフを作成しました。また、作った絵グラフを共有し、どう表すと分かりやすいのか、絵グラフにするとどんなことが分かるのか話し合いました。



活動を通して、絵グラフの良さや整理の仕方について理解を深めることができました。

《図画工作科》

2年生の図画工作科では、「いろの見えかたむげん大」の学習をしました。透明色紙を並べたり重ねたりしながら、いろいろな色や形を見つけていきました。出来上がった作品は、タブレット端末を使って写真に

記録し、次々と作り替えて作品を鑑賞しました。

タブレット端末を活用すると、作りながら自分の作品を客観的に見ることができ、作り替えたものを比較することができました。

撮影した写真をもとに鑑賞し、気付いたことを話し合いました。

図画工作科では完成した作品を記録するだけでなく、制作過程で試行錯誤したり、比較したりする手立てとしてタブレット端末を活用しようと考えています。子供たちが意欲的に楽しく取り組めるように、また、作品とじっくり向き合える時間になるようにしていきたいと思います。



《国語科書写》

3年生の毛筆書写では、「折れ」の学習をしました。

「折れ」を書くときの運筆を効果的に理解させるために、動画を用いて視覚的に捉えるようにしました。始筆から送筆、終筆における一連の動作や穂先の通るところなどを、実際の書字場面を見ながら理解し、確認することで、自分の書字動作に生かされるようにしたいと考えました。また、まとめ書きの比較・共有や話し合いの場面で、自分や友達のまとめ書きを教材の文字や前時に書いた自分の文字と比較し、拡大し細部まで見ることで、筆の向きや「折れ」の部分など、見つけた良さに焦点を当てることができました。

今後は、タブレット端末を活用することが効果的な場面の精査や、自らの書字動作や書く姿勢の確認など、より有効に活用できるよう取り組んでいきたいと感じました。

